

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成25年3月
和歌山県立和歌山西高等学校
和歌山県立和歌山北高等学校西校舎
Tel.453-1281



☆生徒達からのサプライズに感動

平成24年度第32回卒業式が挙行され、112名の生徒達が本校を巣立っていきました。1年生（和歌山北高校西校舎生）も出席し、同じ校舎で学んだ先輩方を見送りました。

学校長式辞、来賓祝辞、在校生送辞、卒業生答辞等を経て休憩に入る時に、突然男子生徒数名が立ち上がり「今までさんざん迷惑をかけてきたけど、本当に先生方や保護者には感謝しています。有難うございました。」と感謝のこトバを述べ礼する場面がありました。その後恒例の「思い出のアルバム」を上映し、3年間の日々を振り返りながら、各担任が「卒業生に贈るこトバ」をかけました（勿論「ナマ」です）。

卒業生は、マナーもしっかりと守り、またサプライズもあり、大変感動的な式となりました。来年度は西高校として最後の卒業式となりますが、「最後の西高生」である2年生達もきっと素晴らしい式にしてくれることでしょう。

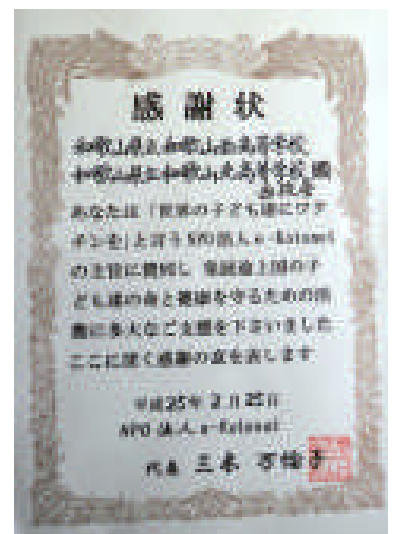


☆命を守るエコキャップ

今年度は37,230個、46人分（内さくら支援学校14,202個、17人分）のワクチンを集めることができました。生徒のみなさん、保護者の方々、卒業生、職員・・・と多くの方にご協力いただきました。有難うございます。集まったキャップは、例年通りNPO法人e-kotonetを経由し、リサイクルされるとともに、途上国へワクチンとして届けられます。

この活動は、生徒達が環境問題、命の尊さ、ボランティア精神について、少しでも考える機会になればと、平成21年度より環境の授業と図書館が中心となってスタートしました。この4年間で集まったキャップは221,071個、276人分のワクチンが途上国に届けられました。しかしながら、統合に伴うカリキュラムの変更により、この活動は今年度をもって終了することとなりました。学校での活動は節目をむかえますが、生徒達の動き出した心は、今後家庭や地域でも活かしていけることでしょう。

この活動を通して感動したことは色々ありますが、なかでも始めてすぐに保護者の方々が協力して下さったことです。生徒は学校での活動を家庭でも話していることが嬉しく、家庭での会話のきっかけをつくれたことは思わぬ喜びとなりました。学校と保護者がひとつになって、子ども達の好奇心を動かす活動ができたことに感謝致します。ご協力有難うございました。



〔学校司書：土橋真紀〕

e-kotonetより感謝状が届きました。
さくら支援学校にも同様に
届いています。

